記者発表資料

平成２４年１１月９日
東北地方整備局　情報化施工推進チーム

情報化施工の現地研修会を青森県、秋田県にて開催します！

～見て・触れて・体感して、施工技術を習得～

東北地方整備局では、ICT（情報通信技術）を建設工事に活用し、高い生産性と施工品質を実現する新たな施工システムである「情報化施工」の普及・導入に向けて試験施工を実施しています。

この度、青森県内、秋田県内の試験施工の現場において、東北建設業協会連合会と連携し、情報化施工に必要な技術の実践的な導入・運用方法を習得するための現地研修会を開催いたします。

◆日時及び場所

＊小雨決行

【青森】　平成24年11月13日（火）　13:30～15:30 頃を予定
青森県中津軽郡西目屋村大字砂子瀬地内　（添付図参照）

【秋田】　平成24年11月20日（火）　13:30～15:30 頃を予定
秋田県大館市商人留地内　（添付図参照）

◆実施概要

参 加 者：東北地方整備局及び各県　県内関係職員
東北建設業協会連合会の会員

実施技術：ﾄｰﾀﾙｽﾃｰｼｮﾝによる出来形管理技術及び締固め管理技術（別紙参照：実施技術は現場によって異なります）

主催：東北地方整備局、共催：東北建設業協会連合会

<発表記者会>　宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、
青森県政記者会、秋田県政記者会

〈問い合わせ先〉
国土交通省　東北地方整備局　情報化施工推進チーム
〒980-8602　仙台市青葉区二日町９番１５号
電話番号　０２２－２２５－２１７１　（代表）
ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰ　施工企画課長　阿曽貢貴　（内線３４５１）
事務局　施工企画課長補佐　山尾　昭　（内線３４５３）

◆「ICT（情報通信技術：Information and Communication Technology）」とは、コンピュータやインターネットに関連する技術のことであり、ネットワーク通信を用いた情報・知識の共有が念頭に置かれているものです。

◆「情報化施工」とは、建設事業における「施工」において、情報通信技術（ＩＣＴ）の活用により、各プロセスから得られる電子情報をやりとりして高効率・高精度な施工を実現するものです。

　施工で得られる電子情報を施工後の維持管理等に活用することによって、建設生産プロセス全体における生産性の向上や品質の確保を図ることを目的としたシステムのことです。

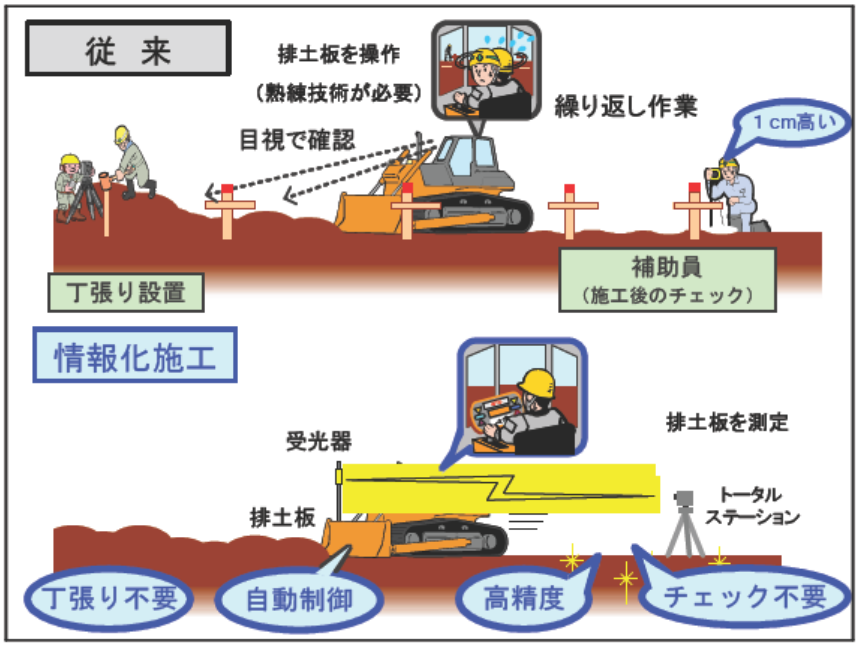


◆ 情報化施工のイメージ

　現在、建設現場では汎地球測位航法衛星システム（ＧＮＳＳ）やトータルステーション（ＴＳ）などの高度な測位システムの導入が進み、測量や検査に使用されています。このような情報通信技術（ＩＣＴ）と電子化された施工図などのデータを活用することによって、施工現場では測量などの計測作業の合理化、建設機械の自動制御やナビゲーションによる品質、精度の向上、丁張なしでの施工による施工効率の向上が期待できます。

　また、出来形管理においても施工中のデータを電子的に記録できることから、任意点での計測が容易となり、施工者の品質管理・帳票作成作業、発注者の監督・検査業務においても、効率化できることとなります。

＜従来と情報化施工のイメージ＞



●当日の実施技術

別　紙

トータルステーションによる出来形管理技術【青森】【秋田】

・トータルステーション（角度と距離を同時測定出来る電子式の測量機器）を用い、出来形（出来上がった部分）の管理を、今まで使われている巻尺等に代わって行う技術です。

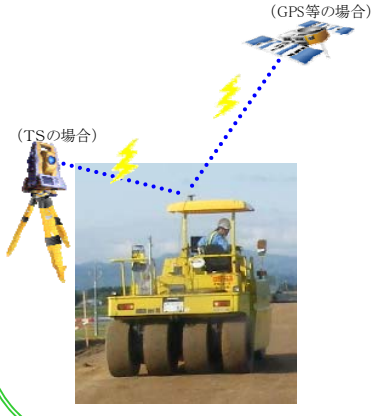
・今までは、計測結果を紙に手書きで記入し整理していたものが、機械で記録するため施工管理の効率化が図れます。





ＴＳ／ＧＮＳＳによる締固め管理技術【青森】

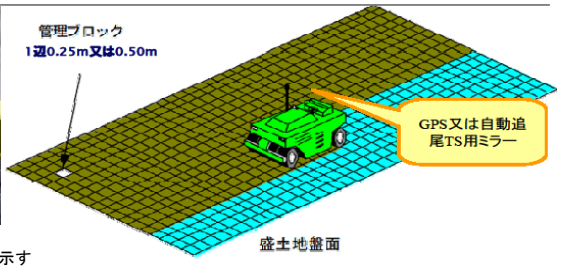
・カーナビに使われるＧＰＳ技術等やトータルステーションで、建設機械の通った跡を電子データで記録します。
盛土を何回踏んだか、パソコンで確認することが出来るため、踏み残しや踏み過ぎを少なくすることが出来る技術です。
・タイヤローラー等についているモニターで、締固め回数が一目で分かる様になっています。

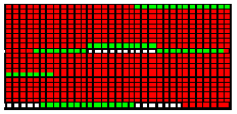


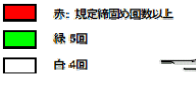


モニター画像

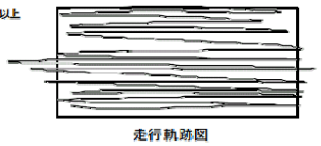
※赤色部は締め固め完了を示す







締固め回数分布図



走行軌跡図

情報化施工現地研修会　会場

案内図【青森県】



情報化施工現地研修会　会場

案内図【秋田県】

